

# 2017年12月期 通期決算 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, dark blue sans-serif font. A small red square is positioned to the left of the letter 'C', partially overlapping it.

AGC 旭硝子

■ 2017年12月期 通期決算	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.14
■ 2018年 通期業績の見通し	P.26
付属資料	P.34

# 2017年12月期 通期決算

# 1. 業績のポイントと主要項目

<b>売上高</b>	<b>14,635億円</b>	前期比1,810億円(14.1%)の増収
<b>営業利益</b>	<b>1,196億円</b>	同 234億円(24.3%)の増益
親会社の所有者に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>692億円</b>	同 218億円(45.9%)の増益

- ✓ 各事業で出荷数量増
  - ✓ 買収した企業の連結化
- ⇒ 増収増益を達成

# 2017年12月期 通期業績の主要項目

AGC

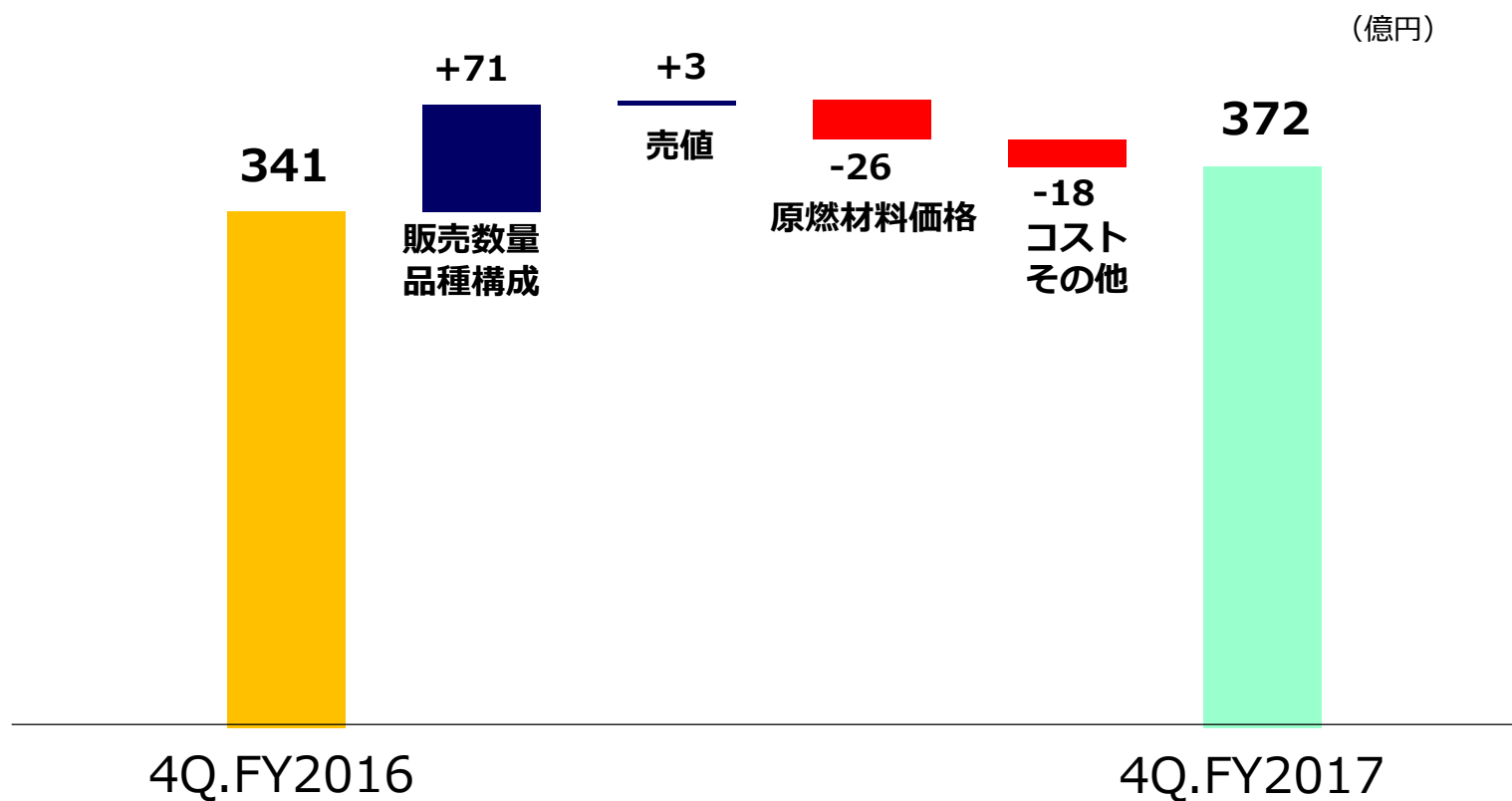
		FY2016	FY2017	増減	増減%
					(億円)
売上高		12,826	<b>14,635</b>	+1,810	+14.1%
営業利益		963	<b>1,196</b>	+234	+24.3%
税引前利益		676	<b>1,144</b>	+469	+69.4%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		474	<b>692</b>	+218	+45.9%
一株当たり配当金 (円)		90	<b>105</b>		
営業利益率		7.5%	<b>8.2%</b>		
ROE		4.3%	<b>6.1%</b>		
為替レート(期中平均)	JPY/USD	108.84	<b>112.19</b>		
	JPY/EUR	120.33	<b>126.67</b>		
原油	\$/BBL(Dubai)	41.5	<b>53.2</b>		

# 連結純損益計算書

	4Q			通期			(億円)
	FY2016	<b>FY2017</b>	増減	FY2016	<b>FY2017</b>	増減	
<b>売上高</b>	3,427	<b>3,996</b>	+569*	12,826	<b>14,635</b>	+1,810*	
<b>営業利益</b>	341	<b>372</b>	+31	963	<b>1,196</b>	+234	
その他収支	-146	<b>-42</b>		-275	<b>-57</b>		
<b>事業利益</b>	196	<b>330</b>	+134	688	<b>1,139</b>	+451	
金融収支	8	<b>7</b>		-13	<b>5</b>		
<b>税引前利益</b>	204	<b>337</b>	+134	676	<b>1,144</b>	+469	
法人税等	-37	<b>-224</b>		-142	<b>-351</b>		
<b>当期純利益</b>	167	<b>113</b>	-54	534	<b>793</b>	+259	
<b>親会社の所有者に 帰属する当期純利益</b>	145	<b>86</b>	-59	474	<b>692</b>	+218	
非支配持分に 帰属する当期純利益	22	<b>27</b>		59	<b>101</b>		* うち、為替差影響は、 4Q 売上高 +171億円、 通期売上高 +360億円

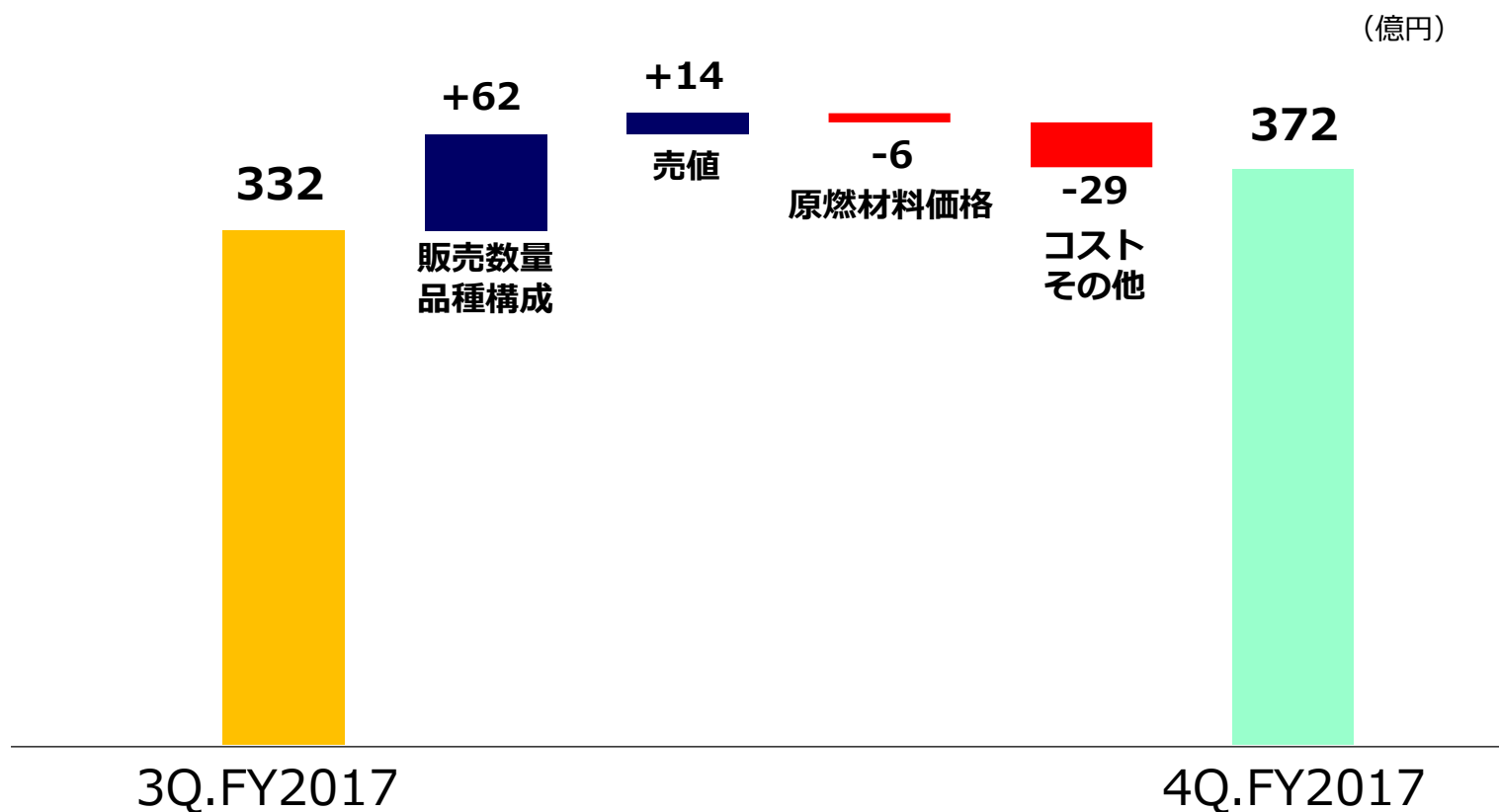
# 営業利益増減要因分析(4Q.FY2017 vs. 4Q.FY2016)

前年同期比 31 億円増益

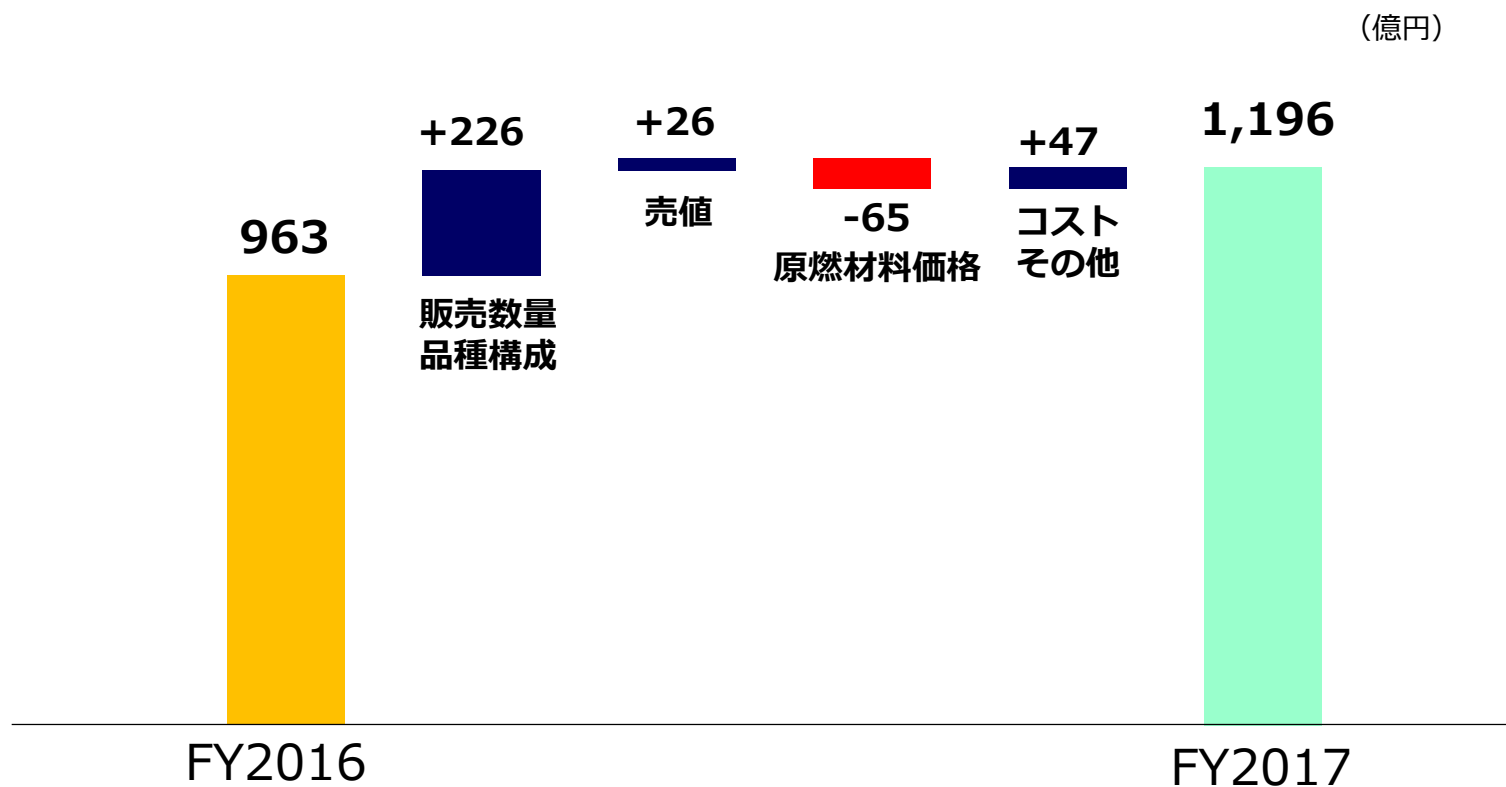




前四半期比 40 億円増益



前期比 234億円増益



	FY2016	FY2017	増減 (億円)
現金及び現金同等物	1,473	<b>1,264</b>	-209
棚卸資産	2,273	<b>2,617</b>	+344
有形固定資産・無形 資産及びのれん	10,001	<b>11,974</b>	+1,973
その他	6,067	<b>6,430</b>	+363
<b>資産合計</b>	<b>19,815</b>	<b>22,286</b>	+2,471*
有利子負債	4,340	<b>4,891</b>	+551
その他	3,787	<b>4,496</b>	+708
<b>負債の部</b>	<b>8,127</b>	<b>9,387</b>	+1,260
親会社の所有者に 帰属する持分合計	10,954	<b>11,840</b>	+886
非支配持分	733	<b>1,059</b>	+326
<b>資本の部</b>	<b>11,687</b>	<b>12,899</b>	+1,212
<b>負債及び資本合計</b>	<b>19,815</b>	<b>22,286</b>	+2,471*
<b>D/E比率</b>	0.37	<b>0.38</b>	* うち、為替差影響は +595億円

# 連結キャッシュフロー計算書

AGC

		(億円)
	FY2016	FY2017
税引前利益	676	<b>1,144</b>
減価償却費及び償却費	1,218	<b>1,282</b>
運転資金増減	121	<b>-150</b>
その他	22	<b>-242</b>
<b>営業活動によるCF</b>	<b>2,036</b>	<b>2,035</b>
<b>投資活動によるCF</b>	<b>-1,136</b>	<b>-2,096</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>900</b>	<b>-61</b>
有利子負債増減	-238	<b>314</b>
支払配当	-208	<b>-219</b>
その他	-18	<b>-283</b>
<b>財務活動によるCF</b>	<b>-465</b>	<b>-187</b>
<b>現金等に係る換算差額</b>	<b>-11</b>	<b>39</b>
<b>現金等の増加額</b>	<b>425</b>	<b>-209</b>

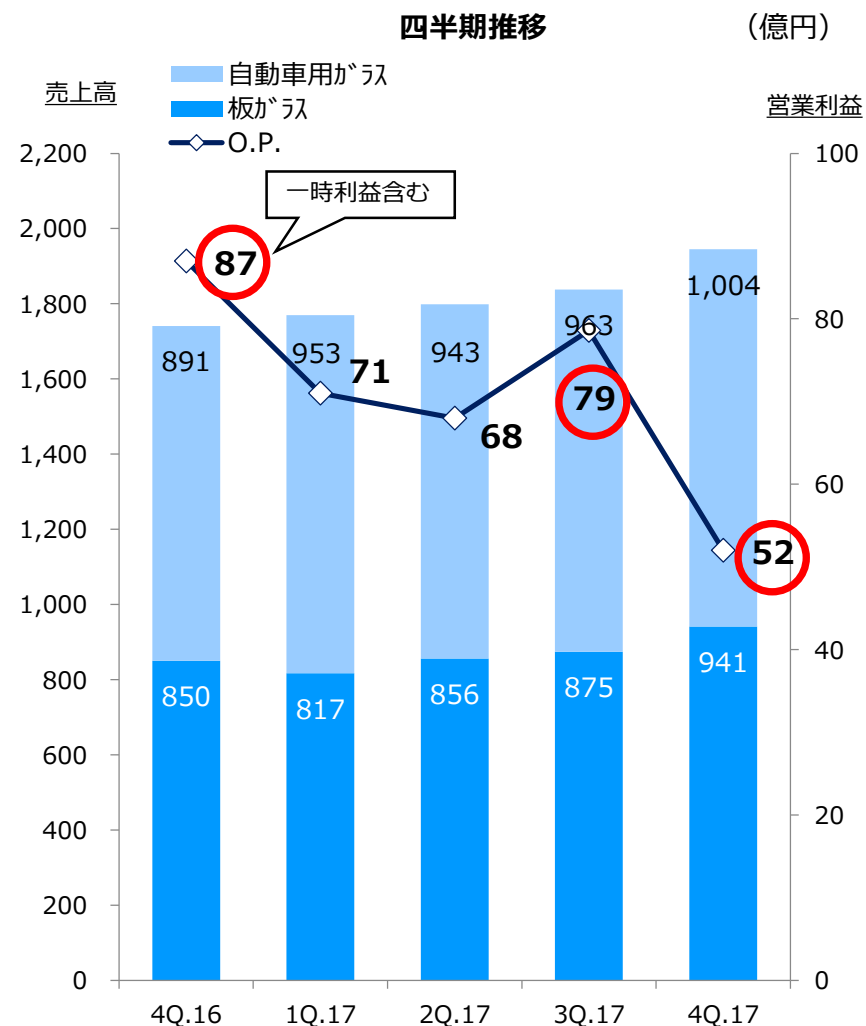
	FY2016	FY2017
		(億円)
<b>設備投資額</b>	<b>1,260</b>	<b>1,651</b>
ガラス	503	<b>638</b>
電子	429	<b>480</b>
化学品	324	<b>505</b>
セラミックス・その他	5	<b>28</b>
<b>減価償却費</b>	<b>1,218</b>	<b>1,282</b>
ガラス	426	<b>454</b>
電子	557	<b>513</b>
化学品	215	<b>294</b>
セラミックス・その他	22	<b>21</b>
消去	-1	<b>-1</b>
<b>研究開発費</b>	<b>392</b>	<b>439</b>

## 2. セグメント別・地域別の状況

# ガラス セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY 2016	FY 2017	増減	FY 2016	FY 2017	増減
売上高	1,734	<b>1,944</b>	+210	6,800	<b>7,351</b>	+551
営業利益	87	<b>52</b>	-34	318	<b>271</b>	-48

売上高の内訳		小計	日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	消去
ガラス	4Q	1,944	857	320	816	-48
	通年	7,351	3,186	1,279	3,053	-167
板ガラス	4Q	941	338	128	509	-33
	通年	3,489	1,221	530	1,862	-125
自動車用ガラス	4Q	1,004	518	192	307	-12
	通年	3,862	1,969	748	1,191	-45
セグメント内調整	4Q	-2	1	0	0	-2
	通年	0	-3	0	0	3



## 【業績ハイライト (通年比較)】

- 増収減益で着地
- 販売は好調もコスト増や一時要因により減益

### 〔トピックス〕

- 建築用、自動車ガラスともに出荷が堅調
- 欧州建築用ガラスの値上げ浸透
- 燃料価格上昇や欧州物流費の増加

### 〔一時要因〕

- 昨年発生した米国子会社年金制度改定益の剥落
- コーポレート費用配賦増による販管費負担増

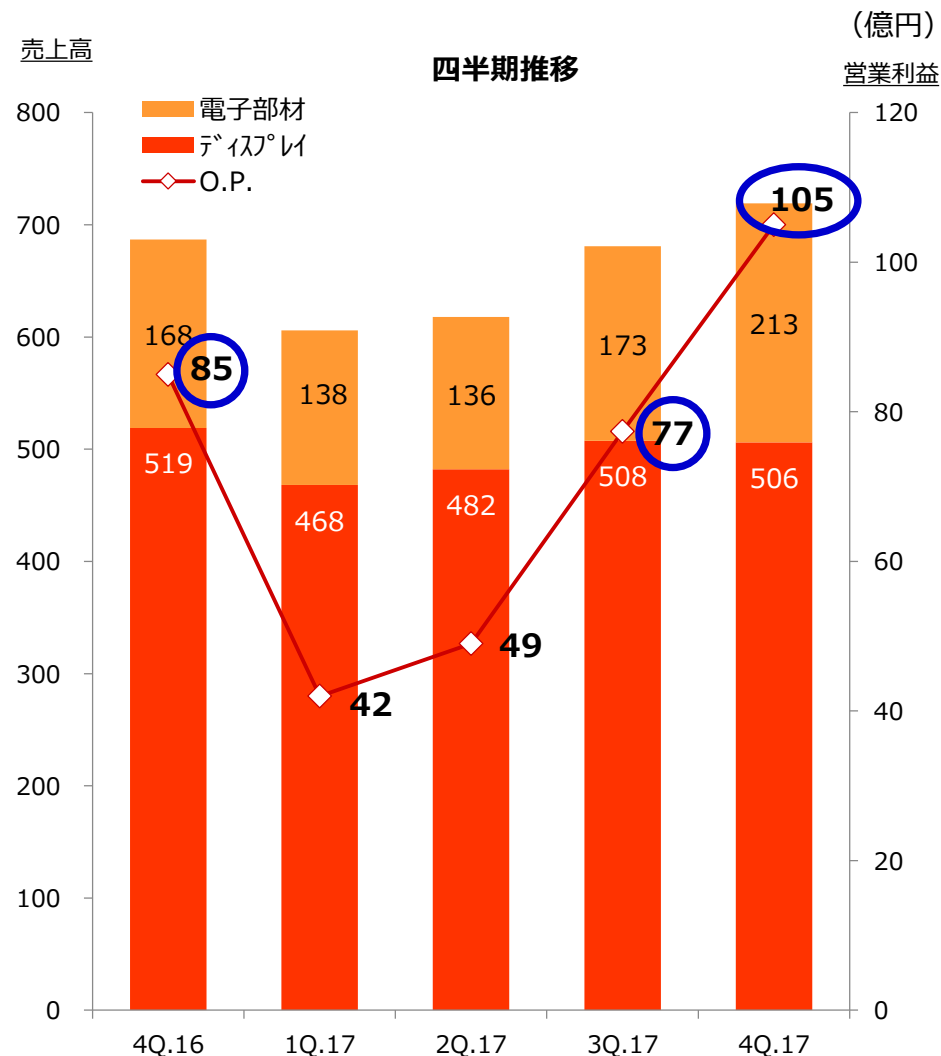


# 電子セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY 2016	FY 2017	増減	FY 2016	FY 2017	増減
売上高	687	<b>719</b>	+32	2,581	<b>2,624</b>	+43
営業利益	85	<b>105</b>	+20	250	<b>273</b>	+23

## 売上高の内訳

ディスプレイ	4Q	506
	通期	1,963
電子部材	4Q	213
	通期	661



## 【業績ハイライト（通年比較）】

- 7年ぶりの増益を達成
- 液晶用ガラス基板の価格下落幅縮小と電子部材の躍進

### 〔トピックス〕

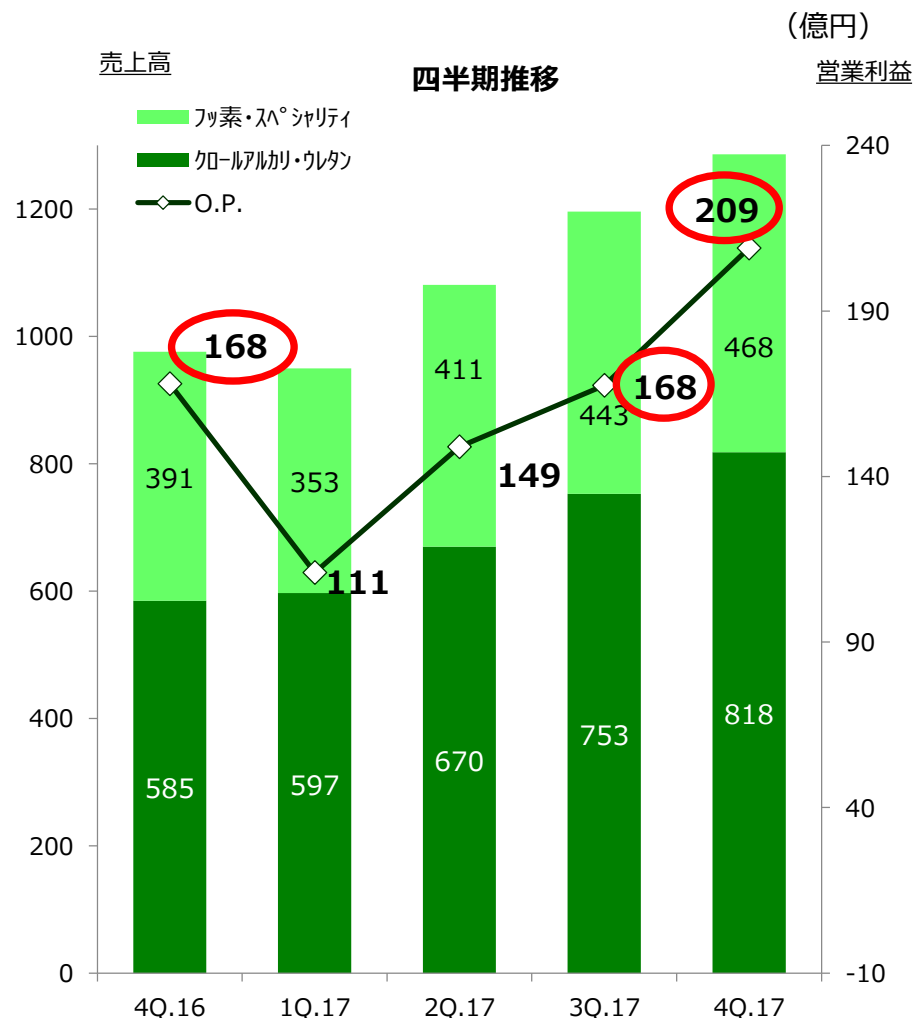
- 液晶用ガラス基板の価格下落幅縮小
- 液晶用ガラス基板のコストダウン継続
- 電子部材はオプトエレクトロニクス用部材、半導体関連商品ともに出荷増
- 車載ディスプレイ用カバーガラスの出荷が順調に増加

# 化学品 セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY 2016	FY 2017	増減	FY 2016	FY 2017	増減
売上高	924	<b>1,252</b>	+328	3,166	<b>4,376</b>	+1,210
営業利益	168	<b>209</b>	+41	400	<b>637</b>	+237

## 売上高の内訳

クロールアルカリ・ウレタン	4Q	818
	通期	2,838
フッ素・スペシャリティ	4Q	468
	通期	1,675
消去	4Q	-34
	通期	-138



\* 組織改正を反映し、16年のサブセグメントの売上高を調整していますので前年度の公表数値と異なります。

## 【業績ハイライト（通年比較）】

- クロールアルカリ、フッ素関連製品ともに大幅増益
- 4事業年度連続で過去最高益を達成

### 〔トピックス〕

- 好調な東南アジア市場に支えられたクロールアルカリの躍進
- フッ素関連製品は大幅な出荷増
- ビニタイ社の連結化も大きく収益に貢献

# セグメント別業績 前年同期比較

AGC

	4Q			通期			(億円)
	FY2016	FY2017	増減	FY2016	FY2017	増減	
<b>売上高</b>	3,427	<b>3,996</b>	+569	12,826	<b>14,635</b>	+1,810	
ガラス	1,734	<b>1,944</b>	+210	6,800	<b>7,351</b>	+551	
電子	687	<b>719</b>	+32	2,581	<b>2,624</b>	+43	
化学品	924	<b>1,252</b>	+328	3,166	<b>4,376</b>	+1,210	
セラミックス・その他	193	<b>229</b>	+37	708	<b>754</b>	+47	
消去	-111	<b>-148</b>	-37	-429	<b>-470</b>	-41	
<b>営業利益</b>	341	<b>372</b>	+31	963	<b>1,196</b>	+234	
ガラス	87	<b>52</b>	-34	318	<b>271</b>	-48	
電子	85	<b>105</b>	+20	250	<b>273</b>	+23	
化学品	168	<b>209</b>	+41	400	<b>637</b>	+237	
セラミックス・その他	3	<b>5</b>	+2	-2	<b>14</b>	+16	
消去	-1	<b>0</b>	+1	-3	<b>1</b>	+4	

# セグメント別業績 前四半期比較

AGC

(億円)

	3Q. FY2017	4Q. FY2017	増減	増減%
<b>売上高</b>	3,740	<b>3,996</b>	+256	+6.8%
ガラス	1,837	<b>1,944</b>	+106	+5.8%
電子	681	<b>719</b>	+38	+5.6%
化学品	1,157	<b>1,252</b>	+95	+8.2%
セラミックス・その他	187	<b>229</b>	+42	+22.6%
消去	-123	<b>-148</b>	-25	-
<b>営業利益</b>	332	<b>372</b>	+40	+12.2%
ガラス	79	<b>52</b>	-26	-33.3%
電子	77	<b>105</b>	+28	+35.6%
化学品	168	<b>209</b>	+42	+24.9%
セラミックス・その他	8	<b>5</b>	-3	-36.4%
消去	0	<b>0</b>	0	-

# 地域別業績 前年同期比較

AGC

	4Q			通期			(億円)
	FY2016	<b>FY2017</b>	増減	FY2016	<b>FY2017</b>	増減	
<b>売上高</b>	3,427	<b>3,996</b>	+569	12,826	<b>14,635</b>	+1,810	
日本・アジア	2,447	<b>2,793</b>	+347	8,816	<b>10,072</b>	+1,256	
アメリカ	358	<b>433</b>	+75	1,462	<b>1,684</b>	+222	
ヨーロッパ	724	<b>907</b>	+183	2,919	<b>3,372</b>	+453	
消去	-102	<b>-138</b>	-36	-371	<b>-492</b>	-121	
<b>営業利益</b>	341	<b>372</b>	+31	963	<b>1,196</b>	+234	
日本・アジア	376	<b>449</b>	+73	1,105	<b>1,394</b>	+289	
アメリカ	38	<b>16</b>	-21	64	<b>50</b>	-14	
ヨーロッパ	12	<b>19</b>	+7	89	<b>109</b>	+21	
消去	-1	<b>-4</b>	-3	2	<b>-1</b>	-3	
地域共通費用	-83	<b>-108</b>	-25	-297	<b>-356</b>	-59	

# 地域別業績 前四半期比較

AGC

	3Q. FY2017	4Q. FY2017	増減	(億円) 増減%
<b>売上高</b>	3,740	<b>3,996</b>	+256	+6.8%
日本・アジア	2,594	<b>2,793</b>	+199	+7.7%
アメリカ	440	<b>433</b>	-7	-1.7%
ヨーロッパ	835	<b>907</b>	+72	+8.6%
消去	-130	<b>-138</b>	-8	-
<b>営業利益</b>	332	<b>372</b>	+40	+12.2%
日本・アジア	381	<b>449</b>	+69	+18.1%
アメリカ	11	<b>16</b>	+5	+48.7%
ヨーロッパ	29	<b>19</b>	-10	-35.4%
消去	-1	<b>-4</b>	-3	-
地域共通費用	-88	<b>-108</b>	-20	-



# 為替換算・連結範囲変更の影響（前期比較）

AGC

（億円）

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
FY2017	<b>14,635</b>	<b>7,351</b>	<b>2,624</b>	<b>4,376</b>
前期比	+1,810	+551	+43	+1,210
[以下影響を除く前期比]	+671	+292	+2	+373
為替換算の影響	+360	+252	+40	+65
連結範囲変更の影響	+779	+7	-	+771

•全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

# 2018年 通期業績の見通し

<b>売上高</b>	<b>15,500億円</b>	前期比 865億円(5.9%)の増収
<b>営業利益</b>	<b>1,300億円</b>	同 104億円(8.7%)の増益
<b>税引前利益</b>	<b>1,180億円</b>	同 36億円(3.1%)の増益
親会社の所有者に帰属する		
<b>当期純利益</b>	<b>770億円</b>	同 78億円(11.2%)の増益

# 2018年 通期業績見通しの主要項目

AGC

		FY2017	FY2018 予想	増減	増減%	(億円)
売上高		14,635	<b>15,500</b>	+865	+5.9%	
営業利益		1,196	<b>1,300</b>	+104	+8.7%	
税引前利益		1,144	<b>1,180</b>	+36	+3.1%	
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		692	<b>770</b>	+78	+11.2%	
一株当たり配当金 (円) <sup>*1</sup>		105	<b>110</b>			
営業利益率		8.2%	<b>8.4%</b>			
ROE		6.1%	<b>6.5%</b>		<sup>*2</sup>	
為替レート(期中平均)	JPY/USD	112.19	<b>110.0</b>			
	JPY/EUR	126.67	<b>135.0</b>			
原油	\$/BBL(Dubai)	53.2	<b>65.0</b>			

\*1 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

\*2 FY2018予想のROEは、2017年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

## 〔ガラス〕

堅調な需要に支えられ、業績は回復へ

- 建築用ガラス
  - 多くの地域で出荷は増加
  - 欧州の売値は前年レベルを維持
- 自動車用ガラス
  - 欧州：堅調な需要に支えられ、高いレベルの出荷が継続
  - アジア：前年の生産トラブルが解消、安定生産に目途

## 〔電子〕

液晶用ガラス基板は価格下落幅縮小も、為替状況が懸念材料  
戦略事業が引き続き成長

- ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板

- 出荷は堅調に推移、価格下落幅は前年比縮小を見込む

- 足元の対アジア通貨円安、燃料価格高騰によりコスト増

- ディスプレイ用特殊ガラス

- 出荷は堅調

- 車載ディスプレイ用カバーガラス

- 出荷は堅調、量産体制確立し収益に寄与

- 電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに  
出荷好調

- EUV露光用フォトマスクブランクスなどの新しい製品が  
順調に出荷を拡大

## 〔化学品〕

東南アジアでの旺盛な需要を背景にクロールアルカリが堅調  
ライフサイエンスの更なる成長を見込む

- クロールアルカリ・ウレタン
  - 東南アジアの出荷は引き続き好調
  - 自家発電所の立上げがコストダウンに貢献
- フッ素製品
  - 前年に引き続き高いレベルの出荷を維持
- ライフサイエンス
  - バイオ医薬、合成医薬ともに出荷好調

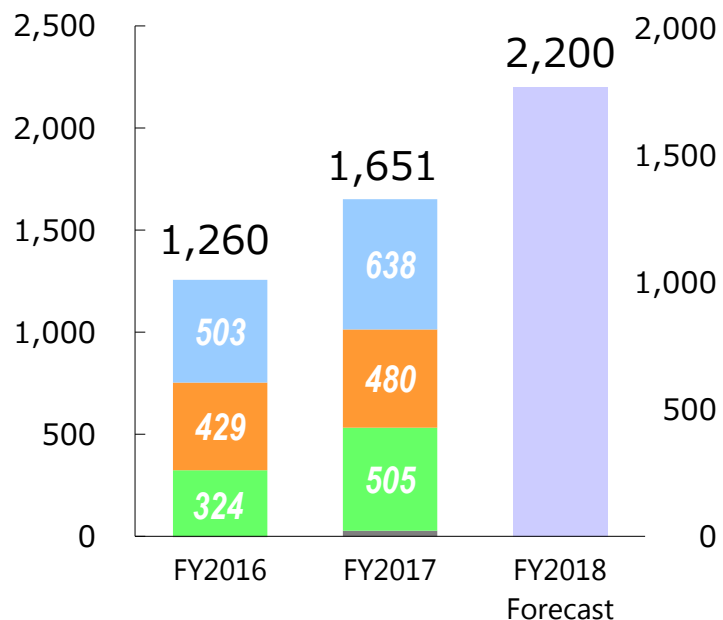


# 設備投資・減価償却費・研究開発費

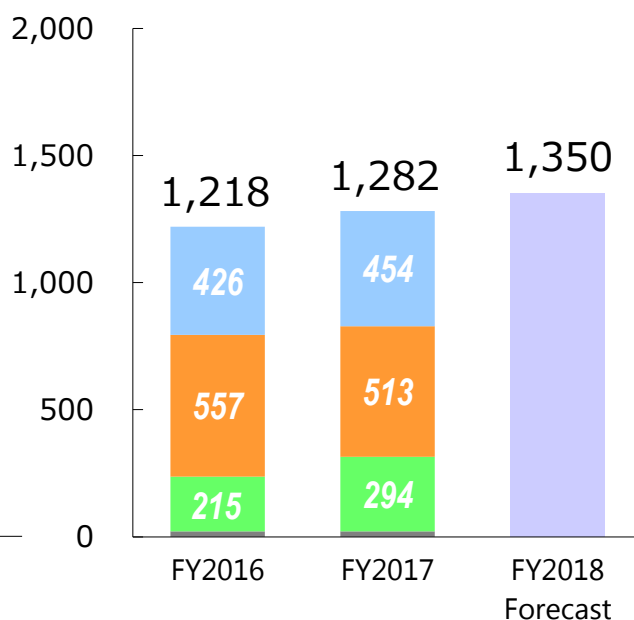
AGC

(億円)

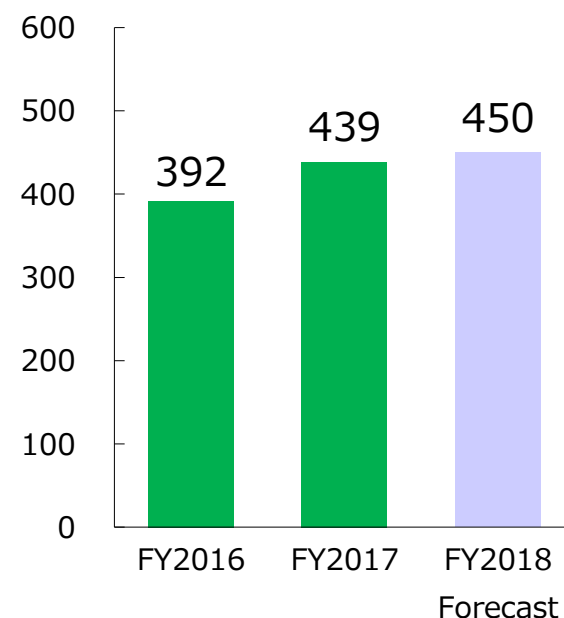
## 設備投資



## 減価償却費



## 研究開発費

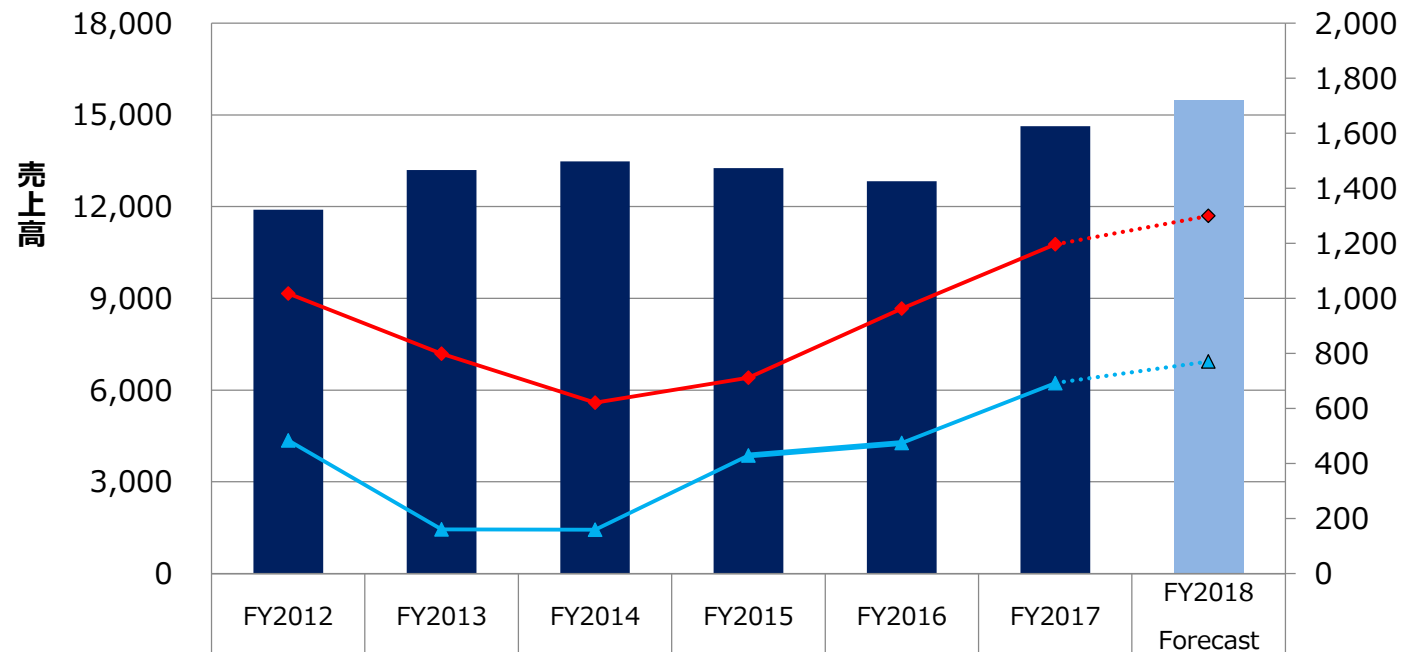


■ ガラス   ■ 電子   ■ 化学品   ■ セラミックス・その他

# 付属資料

# 通期業績の推移

(億円)



営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益

■ 売上高	11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,635	15,500
◆ 営業利益	1,018	799	621	712	963	1,196	1,300
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	484	161	159	429	474	692	770
営業利益率	8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	8.4%
一株当たり配当金	¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥105	¥110

\*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。  
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS					
		12/12	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
自己資本当期純利益率(ROE) <sup>*1</sup>	%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%
総資産営業利益率(ROA) <sup>*2</sup>	%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%
自己資本比率	%	47%	51%	54%	55%	55%	53%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37	0.38
営業CF/有利子負債	倍	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47	0.42
一株当たり当期純利益 (EPS) <sup>*3</sup>	円	209.51	69.85	68.85	185.60	205.14	302.12
EBITDA <sup>*4</sup>	億円	2,000	1,866	1,859	2,284	1,958	2,499

\*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

\*2 営業利益/総資産 (期中平均)

\*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

\*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2016	FY2017				年間	FY2018
			1Q	2Q	3Q	4Q		
円/ドル	期中平均	108.84	113.64	111.09	111.03	112.98	112.19	110.0*
	期末	116.49	112.19	112.0	112.73	113.00	-	
円/ユーロ	期中平均	120.33	121.08	122.19	130.38	133.01	126.67	135.0*
	期末	122.70	119.79	127.97	132.85	134.94	-	

\*4 FY2018の前提

# 2017年 主要発表事項

発表日	内容
1月17日	半導体パッケージおよびサポート用ガラス基板を開発
3月6日	高機能フッ素系コーティング剤「SURECO®」のグローバル販売を開始
5月12日	インドネシアで建築用ガラスの生産体制を強化
5月23日	三次元曲面形状の車載ディスプレイ用カバーガラスを量産開始
6月20日	フィリピン建築用ガラス子会社の全株式を売却
7月6日	導光板用ガラスXCV™の大量生産を開始
8月24日	第11世代TFT液晶用ガラス基板の製造窯を中国で建設
9月14日	AGC旭硝子の曲面形状の車載ディスプレイ用カバーガラスを搭載した世界初の量産車が登場
9月20日	AGCブランドの発信拠点として、「AGC Studio」がリニューアルオープン
9月25日	子会社CMC Biologics社のバイオ医薬品生産能力を増強
10月23日	地球温暖化を抑制する環境対応型新冷媒「AMOLEA® 1224yd」の国際認証を取得
11月6日	分離機能ブランド「FORBLUE™」を立ち上げ、拡大する「分離」需要に対応
12月8日	スマート調光ガラスのKinestral Technologies社と合併会社設立
12月13日	鹿島工場でネットZEB施設の建設を開始
12月14日	「熱可塑性炭素繊維強化プラスチック(CFRTP)改良技術」を開発

# 予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は旭硝子株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



## **AGC旭硝子**

〒100-8405  
東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
新丸の内ビルディング

問い合わせ先：広報・I R部  
E-mail : investor-relations@agc.com  
Tel : 03-3218-5096  
Fax : 03-3201-5390

[www.agc.com](http://www.agc.com)